

関係人口 受入事例集

vol. 3



島根の輪を広げるきっかけに!

地域外に住みながら地域と多様にかかわる人たち「関係人口」。観光以上・移住未満の「関係人口」は近年、新たな地域活動の担い手、サポーターとして注目を集めています。

そこで私たちは、しまね関係人口マッチング・交流サイト「しまっち!」を立ち上げ、《地域の方と関係人口が一緒になって地域に変化を起こす》活動のお手伝いをしています。

この冊子では、「しまっち!」などを介し、実際に関係人口と一緒に地域づくりに挑戦しているみなさまをご紹介します。

公益財団法人 ふるごと島根定住財団

Let's expand the circle!

"やってみたい"と"手伝って"をマッチング





活気に湧いた4年ぶりの夏祭り

14歳以下が4人しかいない町が

浜田市

しまっち! DATA

- プログラム募集の利用回数…1回
- サポーター参加者……………9人

CASE

1

黒沢まちづくり委員会

|| かっぱランド夏祭りをはじめとするイベント企画・運営
食で地域を助ける「ちい助弁当」の製造・販売ほか ||



びしょ濡れになって遊んで地元グルメでお腹いっぱい！笑顔満開！



高齢化率60%超、14歳以下はわずか4人。少子高齢化のフロントランナーともいうべき地区で、「黒沢まちづくり委員会」が発足したのは2009年。地元高齢者の食生活を支える「ちい助弁当」をはじめとする地域内の活動だけでなく、廃校になった小中学校の卒業生を対象にした「拡大同窓会」など、地域外へ出た方との交流の創出を目指した活動も行っていきます。そのうちのひとつが夏の風物詩「かっぱランド夏祭り」です。かっぱ尻相撲やごご渡りといった川遊びを中心に、屋台村、地元高校生によるドリンク販売など、地区内外が一体となったビッグイベント。この夏は4年ぶりの開催となりました。2023年春、センター長に就任した齋藤さんは「頑張りたい人、体力的に厳しい人。多様な方が暮らす地区の中で、いかに最適化を図り“続けていけるか”を大切に活動していきたい」と意気込みます。

困っていたコト

立ち上げメンバーの高齢化 想定よりも人が足りず…

「かっぱランド夏祭り」がスタートしたのは今から15年ほど前。当時、現役バリバリだった40~50代のスタッフも、今や立派なおじいちゃん・おばあちゃんに。水辺のイベントのため安全上、元気な人手は不可欠。ボランティアを募る人も集まらなくて……。



リーダーの声

専門的な助っ人も！ 活気に満ちた現場になりました

今回初めて「しまっち！」で募集したところ9名の応募が！人数の多さもさることながら、自然体験や沢登りのプロなど、専門的な方が多く驚きました。また、イベント前に「Shimatching(→P9)」でつながっていたNPO法人石西防災研究所(→P10)の伊藤さんに当日、安全管理の監修として協力いただいたことも心強かったですね。



視察ウェルカム！ 今後の活動計画

- ・大平桜まつり(例年3、4月)
- ・秋の六地藏道ウォーク(例年11月)
- ・お米“いいね、黒沢。”の販売
- ・毎週水曜「ちい助食堂」でお弁当の販売



黒沢まちづくりセンターを拠点に活動中です。イベントの視察などありましたら、いつでもお声かけください！

サポーターにお願いしたコト

- 水遊びアトラクションの見守り役
- カレーなどの屋台村の配膳サポート
- 記録用写真や動画の撮影



イベント参加者の声



- ・川遊びという非日常を体験できて良い機会となりました。
- ・川遊びを子どもから大人まで楽しめて大満足！川遊びと同時進行で地域の自然を使って遊べる内容がプラスしてあれば、さらに人が集まる場所づくりにつながると思う。
- ・高齢化が進む中、若い方が先頭に立ってイベントを盛り上げておられたことに感動。お手伝い程度しかできませんが、今後同じようなイベントなどに、微力ながらお力になればと思いました。

check!!

詳しい活動の様子はこちら！

プロジェクトの歩み、活動の詳しい様子などは、しまっち！サイト上で公開しています。





でも実際やってみると発見続々！

最初は乗り気じゃなかった助っ人募集

CASE
2

NPO法人 さん けい かい 里の恵み山溪会

- しまっち! DATA
- プログラム募集の利用回数…3回
 - サポーター参加者……………10人

須佐神社しんじょうさい「新嘗祭」での大根鍋振る舞いの企画・運営
椎茸・なめこの植菌、ジビエ普及活動ほか



しまっち
サポーター

しまっち
サポーター

大根鍋の仕込みのお手伝い募集でしまっち!を初利用

神話が息づく町、出雲市佐田町の須佐地区を拠点に活動しているNPO法人里の恵み山溪会。団体の活動歴は古く、スタートは今から23年前。代表の横山さんが1ターンしたことを機に、ジビエの捕獲・加工および販売を主目的に設立。現在は広くジビエの普及活動を行っています。観光名所でもある須佐神社の「新嘗祭」では、参拝客に“大根鍋”を振る舞おうと発案し実行。2023年で28回目を迎え、すっかり祭の定番にもなりつつあります。地域の賑わいと、交流促進を目指して活動中です。

サポーターを募集する前

わざわざ地域外の人を募ることが面倒に感じていた

大根鍋の仕込みは大仕事。地元の有志だけで200kg以上の野菜を切るのは大変です。ただ、長年してきたことで、ある意味“慣れている”。地域外の人が手伝いに来てくれるのはありがたいけど、“お客さん”として対応することにエネルギーをかける方が面倒だと思っていました。



リーダーの声



普段の活動そのままOK “来たら受け入れる”のスタンスで

1人でも来てくれたら儲けもの、と2022年「須佐神社 新嘗祭」大根鍋の前日の仕込みと、当日の振る舞いのサポーターを募集してみました。すると、松江に移住した方や東京からの旅行ついの方が来てくれました。心配だった“お客さん”としての扱いはまったくする必要がなく、いつも通り。外の人なんだけど、中の人のような感じで。わざわざプログラムや仕事を作らずとも、来てくれる人は来てくれるし見てくれている。そういった気構えさえあれば、サポーター募集も実際のプログラムも、うまくいくのではないのでしょうか。

サポーターにお願いしたコト

- 「新嘗祭」での大根鍋の振る舞いサポート
- 「新嘗祭」で振る舞う大根鍋の仕込み



しまっち
サポーター

臨機応変に対応!



字を書くのが好き、とのことで花方の掲示を書いてもらいました

視察ウェルカム! プログラム計画中のプロジェクト

- ・民泊(一縁荘)露天風呂復活!
- ・間伐林の薪割り
- ・荒地ドッグラン化



ワクワクすることに取り組んでいけば、きっと人は内外からついてきてくれるはず! 「しまっち!」を通して、地域内の世代交代も刺激できたらいいなあと考えています。



check!!

詳しい活動の様子はこちら!

プロジェクトの歩み、活動の詳しい様子などは、しまっち! サイト上で公開しています。



何ができる? どうやって使う?

しまっち!

とは?

島根といろいろなかわりを持つ、観光以上・移住未満の「関係人口」と呼ばれる人たちと、島根の地域団体のみなさんをつなぐウェブサイトです。島根の地域団体がプログラム主催者(オーナー)となって、さまざまなイベント・企画を掲載でき、お手伝いなどの関係人口(サポーター)を募集できます。みなさんの「叶えたい目的」に応じて、参加者を募る「プログラム」、活動を知ってもらうための「コミュニティ」、活動報告の「レポート」のいずれも無料で利用いただけます。お気軽にご活用ください!



利用イメージ



手伝って欲しい! 一緒に作り上げたい!

オーナー

島根の地域団体等がプログラムの参加者を募集



地域貢献したい! 子どもと一緒に農業体験してみたい! 地域の人とつながりたい!

サポーター

地域活動に前向きなサポーターが気になるプログラムに参加

メリットいろいろ!

- CASE 1** サポーターの参加が手の足りない活動の一助に
- CASE 2** 意見交換やアイデア募集など、活動を通して新たな発見が得られるかも
- CASE 3** 自分たちの活動を知ってもらえる! 広報ツールとしても活躍します
- CASE 4** 地域外の人が地域に飛び込むことで、地域内の交流や活動も活発化!

できること!

- CASE 1** プログラム・コミュニティ・オーナー情報の掲載
- CASE 2** 活動レポートの作成
- CASE 3** コメント機能などでサポーターと交流
- CASE 4** 参加者・サポーターへメール送信

しまっち! 利用実績 2023年11月30日現在

しまね関係人口マッチング・交流サイト

地域団体等(オーナー)の団体数	関係人口(サポーター)の人数	プログラム数	マッチング数	延べ参加者数
114団体	781名	167件	118件	483名

例えばこんな使い方...

- 昔から開催しているイベント・祭事のお手伝い募集
- 草刈りをはじめとする地域美化活動のお手伝い募集
- 商品開発などのアイデアを募るオンライン企画への参加募集



プログラム一覧はこちら▶

「奥出雲町地域円卓会議」に参加!

《既存の活動をプログラム化して関係人口を創出》

奥出雲町では、各地区の繋がりを深め、学び合い、地域づくりのレベルアップを図るため、「地域円卓会議」を実践中。2023年度には奥出雲町政策企画課から声掛けいただき、私たち定住財団も「関係人口」をテーマに、町内9地区(当日参加は5地区)の方々へ、関係人口や「しまっち!」についてお話ししました。その後、早速4地区が地域活動をしまっち!プログラム化!



プログラム化した活動

- ◎「奥出雲おろちループグルメマラソン」
八川地区(八川未来園)
- ◎「三成地区文化祭」三成地区(三成郷づくりの会)
- ◎「地域美化活動」鳥上地区(鳥上地域振興団体バードアップ)
- ◎「金言寺銀杏祭り」馬木地区(地域づくりフォーラム馬木)
- ◎「みざわまちあかり with 三沢十七夜まつり」など
三沢地区(サワコトプロジェクトほか)

担当者の声

奥出雲町 政策企画課
安部 宏明さん



定住財団の職員さんは“現場を大切にしている”ことが伝わってきます。「しまっち!」のことが気になる団体がいる、と声をかけたら、すぐに現地まで足を運んでくれます。直接現地に行き、地域の人と話しながら、丁寧な説明とサポートで、町の関係人口づくりに貢献してくれています。

Point!

少子高齢化による人手不足、情報発信の弱さといった課題は、奥出雲町のみならず島根県全体に当てはまる内容。そういった中で、今回は役場からの積極的な声掛けもあり、課題に直面している皆さんとお話でき、「これまで行ってきた活動をそのままプログラムにできる」をご理解いただけたのが、プログラム化の最大の要因です。



地域の方々のお困りごとを解決する手法のひとつに「しまっち!」をぜひご案内ください。現場でもお電話でも、しっかりお手伝いさせていただきます!



サポーターが
より参加しやすく!

しまサポ助成金

詳しくは
こちら▶



《より多くのサポーターに「しまっち!」を利用して島根の地域活動に参加してもらいたい》そんな思いから、2023年に「しまサポ助成金」が誕生しました!

「しまっち!」にサポーター登録し、「しまっち!」を通じて助成対象プログラムに申込・参加した場合の交通費と宿泊費を一部支援するものです。県内・県外問わず活用できる助成金なので、関係人口のプログラム参加がよりしやすくなります!詳しくは定住財団へお問い合わせください。



しまサポ助成金 (しまっち!サポーター地域参画助成金)	
対象	しまっち!にサポーター登録し、しまっち!を通じて助成対象プログラムへ申込・参加された方
対象経費	プログラムに参加するために居住地から目的地の間を移動する際に要する交通費(片道分)、宿泊費(半額)
助成限度	1回につき上限10,000円、1名につき2回まで



地区内での情報交換なども活発に

サポーターの姿勢に感動！

CASE
3

- しまっち! DATA
- プログラム募集の利用回数…3回
 - サポーター参加者……………10人

NPO法人 出雲フィンランド協会

フィンランド文化の発信、モルック大会の開催
各種イベント出店ほか



しまっち
サポーター

2023年夏には
多伎町のビッグイベント
「多伎キララまつり」
に参戦!



元々、観光名所でもある『道の駅キララ多伎』の建築デザインを北欧風にしたことから、フィンランドとの交流がスタートしました。その後、フィンランド国際交流員の招致、中高生・教員相互派遣交流などを実施。そして2003年、出雲市(旧多伎町)とフィンランド共和国カラヨキ市が友好姉妹都市提携を締結し、出雲市多伎町は名実ともにフィンランド文化の交流拠点に。そういった背景の中で、文化交流の中心を担うのが、2000年に設立されたNPO法人出雲フィンランド協会です。生活・文化・スポーツ・教育・経済などの交流を通じて、出雲市民並びに会員と、フィンランド共和国国民との相互理解を深め、友好・親善関係を推進することを目的に活動しています。特に老若男女問わず楽しめるニュースポーツ「モルック」の競技会や体験会などは、毎回多くの人が参加する名物企画に。

困っていたコト

積極的なサポーターに偶然出会い 気になり聞いてみると…

出雲市『道の駅キララ多伎』のイベントに出店した際、隣では私たちが同じく出雲市多伎町で活動している地域団体「田んぼで金魚」の金魚すくい屋台がありました。そちらに「しまっち！」サポーターの方も参加していて、積極的にお手伝いに励んでおり、その姿に感動！同じ多伎町を盛り上げる有志として意見交換も。

後日、オンラインイベント「Shimatching」で、「田んぼで金魚」「多伎いちじく盛り上げ隊」の

休耕田を活用して金魚養殖を行う「田んぼで金魚」の代表・山田さん(写真左)。「田んぼで金魚」メンバーであり、多伎町特産のいちじくの魅力PRなどを行う「多伎いちじく盛り上げ隊」の一員でもある堀江さん(写真右)。



山田さんと堀江さんのお話を聞き、「あんなに積極的に参加いただけるなら」と、早速「しまっち！」で募集をかけました。人手に困っているわけではありませんでしたが、何よりサポーターの方の姿勢に感銘を受け、募集を決めました。



オンラインイベント「Shimatching ~ 島根とゆるくつながる場~」とは？

関係人口と地域団体がつながるきっかけ作りをするオンラインイベント。地域団体のオーナーも一般参加者に混じって交流でき、関係人口とのつながりはもちろん、他地域の活動を参考にできたり、他地域のオーナーとつながれたり。得られる価値もさまざまです！



リーダーの声

物は試しと募集したら 初回からまさかの5名も参加！

「しまっち！」で募集をかけたのは計3回。最初は初夏モルック大会の運営スタッフ募集でした。人が集まるのか、どんな方が集まるのかドキドキでしたが、5名定員に対して5名の応募が！下関や広島など、県外参加の方もおられ、単純にマンパワーとして助かっただけでなく、広くフィンランド文化の発信もできて大満足。



参加者の声

・今から10年ほど前の相互派遣交流事業に参加して以降、フィンランドをはじめ、北欧の文化にも興味を持っていました。今回、Facebookで「キララまつり」出店とお手伝い募集を知り、何か地元に貢献できたら、と参加しました！



視察ウェルカム！ 定期イベントも開催中です

子どもからお年寄りまで楽しめるニュースポーツ「モルック」の体験会を毎月開催中です。そのほか、フィンランドとの友好都市連携の象徴でもあるキララビーチでは、ノルディックウォーキングイベントも開催していますよ。



check!!

詳しい活動の様子はこちら！

プロジェクトの歩み、活動の詳しい様子などは、しまっち！サイト上で公開しています。



CASE

4

NPO法人

石西防災研究所

防災キャンプをはじめとするイベント企画・運営、防災に関するセミナーほか

益田市で活動するNPO法人石西防災研究所は、その名の通り「防災」をテーマに活動する地域団体。古くから度々、災害に見舞われてきた地域で、防災講演会や災害ボランティア研修会などの活動をしています。最近では初めての防災キャンプなど、親子向けイベントも。「しまっち！」でも複数回サポーター募集をしている人気団体です。

“見守り”中心で子どもと一緒に

防災で遊びながら学ぶ



しまっち! DATA

- プログラム募集の利用回数…5回
- サポーター参加者……………8人

益田市

リーダーの声

参加者の主体性をフォローする見守り役として大助かり



防災キャンプや自然遊びといった、親子向けプログラムでは、火おこしをはじめ、危険を伴う内容もあります。加えて、小学校の低学年、保育園・幼稚園の年長さんといった小さい子どもたちが多数参加。そ

ここで、サポーターのみなさんには、「主役は子どもたち！」を合言葉に、見守り役をお願いしました。「子どもたちと一緒に防災プログラムに参加する」というシンプルな内容も相まって、地元大学生をはじめ、若い方々もサポーター参加いただき、イベント運営も非常に助かっていますよ。

サポーターにお願いしたコト

- 「初めての防災キャンプ」をはじめ、各種親子向けイベントの見守り
- 各種イベントでの記録用写真、動画の撮影補助



check!!

詳しい活動の様子はこちら！

プロジェクトの歩み、活動の詳しい様子などは、しまっち！サイト上で公開しています。



視察ウェルカム！ 他団体とのコラボイベントも！

「しまっち！」プログラム掲載を機に、同じ西部で活動する団体・モルック浜田とのコラボ企画、浜田市「かっぱランド夏祭り」の防災監修といった、他団体との関わりもグッと増えてきました。手法は違えど、「地域を豊かにする」という目的を共有できるのも魅力ですね！当団体は西部が拠点ですが、東部地域への進出も計画中です。



CASE

5

コウノトリの会春殖

コウノトリの保護環境
整備、啓発活動ほか

“幸運を呼ぶ鳥”と言われるコウノトリが飛来する雲南市春殖(はるえ)地区。市のシンボルとして親しまれる渡り鳥が安心して暮らせるよう、環境づくり・地域づくりにチャレンジ中。草刈りをはじめ環境整備がメインゆえに、活動の印象度は控えめ。それだけに、「しまっち！」のマンパワー以外の発信力にも期待しているようです。

困っていたコト

市のビジョンを共有して
精力的に活動中

だけどイマイチ知られていない

2009年に雲南市へ初飛来したコウノトリ。2019年には雲南市で「コウノトリと共生するまちづくり」をスローガンにビジョンが策定され、市全体で保護活動に取り組むことに。当団体も同年から活動をスタートし、これまで餌場の草刈りや環境整備を行ってきました。しかし、屋外活動が多く手が足りない。そこで「斐伊川水系水鳥プロジェクト」で知った「しまっち！」でサポーターを募ることに。



視察ウエルカム！ 普段はこんなことをしています！

ビオトープをはじめ、生き物と共生する環境整備、草刈りといった屋外活動に加えて、コウノトリの保護及び啓発を目的にした活動も。「しまっち！」を通して発信していき、後発団体が出てくれればいいなあ、なんてことも期待しています！



サイト利用での発信力に期待

サポーター参加者はゼロでも

しまっち! DATA

- プログラム募集の利用回数… 1回
- サポーター参加者…………… 0人

リーダーの声

長く活動を続けるうえで
やはり知ってもらうことは重要



募集したところ結果はゼロ。しかし、最初こそ手助けを期待していたプログラム募集でしたが、自分たちの活動の様子や目的などを表現できる名刺的なページを持てたこと、そしてそれを外へ発信していただけることに期待感が増しました。実際、今でも地域内で保護活動の事を知っている方は少数。今後、長く活動を続けるうえで、やはり地元の協力は不可欠です。その点、広報のベースが「しまっち！」でできることは、広報下手な私たちには魅力的ですね。

check!!

詳しい活動の様子はこちら！

プロジェクトの歩み、活動の詳しい様子などは、しまっち！サイト上で公開しています。



ふれる、あじわう、おはなしする



しまっち!

しまね関係人口マッチング・交流サイト

を通して地域外の人と関わりを持つことで
“なりたい未来”を後押しします

私たち、ふるさと島根定住財団では、移住・定住だけでなく、
活力と魅力ある地域づくりを促進するべく、
コミュニケーションの手間を惜しみません。

今回の事例集でご紹介した事例は、ほんの一部。
地域団体によって、かかわり方もプログラムの内容も、
もちろん目的も異なります。

「私たちならどんなコトができるだろう?」そう思ったら、
まずはご連絡ください。みなさんからの
「ちょっと聞いてみたいんだけど」を
心待ちにしています!

お問い合わせ・発行元：公益財団法人 ふるさと島根定住財団

松江事務局
(地域活動支援課)

〒690-0003 島根県松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
TEL：0852-28-0690 E-mail：chiiki@teiju.or.jp

石見事務所

〒697-0034 島根県浜田市相生町1391-8 シティパーク浜田2階
TEL：0855-25-1600 E-mail：iwami@teiju.or.jp

県内市町村の下記窓口でも関係人口の受入れについてご相談いただけます。

松江市	定住企業立地推進課	TEL 0852-55-5215
出雲市	政策企画課	TEL 0853-21-6614
安来市	やすぎ暮らし推進課	TEL 0854-23-3059
雲南市	うんなん暮らし推進課	TEL 0854-40-1014
奥出雲町	政策企画課	TEL 0854-54-2514
飯南町	まちづくり推進課	TEL 0854-76-2864
浜田市	定住関係人口推進課	TEL 0855-25-9511
益田市	連携のまちづくり推進課	TEL 0856-31-0173
大田市	まちづくり定住課	TEL 0854-83-8031
江津市	地域振興課	TEL 0855-52-7926

川本町	まちづくり推進課	TEL 0855-72-0634
美郷町	美郷暮らし推進課	TEL 0855-75-1212
邑南町	地域みらい課	TEL 0855-95-1117
津和野町	つわの暮らし推進課	TEL 0856-74-0092
吉賀町	企画課	TEL 0856-77-1437
海士町	交流促進課	TEL 08514-2-2446
西ノ島町	観光定住課	TEL 08514-6-1257
知夫村	地域振興課	TEL 08514-8-2211
隠岐の島町	地域振興課	TEL 08512-2-8570

2023年11月30日現在